

# ユニコム 通信

Universal Community

ユニコムかつしか機関誌

Vol.4

<http://uc-k.net>



## 市民活動団体のネットワークづくりを！

昨年五月、葛飾区市民活動支援センターがオープンしました。

以来、同センターを会場に、NPOや地域づくりなどに関する様々な講座や交流会やイベントが行われてきました。そこに集まって来る市民活動団体の人たちの交流の輪も徐々にではありますが、広がって来ています。

さて、開館二年目を迎えた市民活動支援センターではこの二月、市民活動団体から十九年度前半に実施する事業提案を募集し、同センターが支援して二つの事業を行うことになりました。

一つは、かつしか子育てネットワーク提案の「0123才あそびの広場inかつしか」です。今年の五月、市民活動支援センターで行われるこのイベントについては二面のグループ紹介記事をご覧ください。

二つ目がユニコムかつしか提案の「市民活動フォーラム2007」。

これは、平成二十年度から予定されている公共施設の地域住民による運営がテーマです。今年夏頃迄に、施設をどのように運営していけば地域のコミュニティ拠点としての役割を果たせるかについて討議します。同時に、葛飾区とユニコムかつしかの十九年度協働事業としてサービスを行うインターネット上の地域SNS（ソーシャルネットワークサービス）について、参加の皆様と意見交換しながら地域のコミュニケーションツールとしての有効活用方法などを考えていきます。

これら二つのイベントはいずれも、地域の人たちに市民活動への参加を呼びかけたり、すでに活動している人たちのネットワークを広げることも目指しています。もちろん最終の目標は、誰もが住みやすく暮らしやすい生きいきとしたまちづくりです。

市民活動支援センターを舞台に、市民活動に関わる人たちのネットワークをもっとと広げて行きましょう！

# かつしか子育てネットワーク

去る二月十九日、市民活動支援センターで「第二回0123才 あそびの広場 in かつしか」の第一回実行委員会が開かれました。主催はかつしか子育てネットワーク、代表は川越誠一さんです。

第一回目のあそびの広場は、昨年三月にテクノプラザにおいて葛飾区・葛飾区教育委員会の後援を得て行われました。二回目の今年は、五月十三日(日)、場所を市民活動支援センターに移し、同センターの支援を受けて昨年以上の規模で開催される予定です。

かつしか子育てネットワークは、二〇〇四年十二月に立上げフォーラムを行ってスタート。葛飾区内で子どもや子育て支援に関心のある活動グループなどをゆるやかなネットワークで結び、交流・学習、情報の発信・共有を行う目的で結成されました。そうした活動を通じて、意欲のある人



が子育て支援活動を始めやすくなる、子育て中の親が必要な情報を得やすくなる、子育てを通じてさまざまな人が出会える……そんなまちをつくることを目指しています。

また、子育てネットワークでは、この三月区議会での予算成立を待って「子ども・子育ての視点から見た情報マップづくり」をスタートさせます。これは十九

年度の葛飾区との協働事業として行うもの。子育て当事者の視点を活かしたマップを作り、それを通じて子どもや子育ての視点からの地域の見直し、まちづくりへの問題提起につなげていくことを目指しています。

今年五月の「あそびの広場」の詳細はこれから実行委員会で詰めていくことになりすが、昨年以上に盛大で好評なイベントになるよう、参加十四団体の一員としてユニコムかつしかも微力ながら協力させていただきたいと思っています。



イラスト提供：ふわふわ。り

## 地域づくり講座ほか・まとめて受講記

私はユニコムかつしかの講座受講担当か？ そう冗談を言いたくなるくらい昨年から色々な講座に顔を出した。

出席した講座はたいいてい区が市民活動支援センター主催で、実はほとんどが義理と人情からの参加。日頃何かとおつき合いがある主催元から依頼されれば、断りにくい。義理が廃れば……である。講師だって猫一匹でも多いほうが張り合いがある。受講者が少なくて企画者の評価が下がっても気の毒、と余計な気まで回す。我ながら人情に厚い！

とはいえ義理と人情はあっても、すべての講座に参加し続けるほど暇もお金もない。自分に興味や関心のある講座を選んでの参加となる。また、講師や受講生の人たちとの人脈を作る下心もあり……：ほんとはこれが講座参加のいちばん強い動機かも。

そんなこんなで参加した数々の講座、多くの人たちと知り合い、様々な知識を得た。中でも印象に残ったのは地元学・郷土学の講義。どんな地域にも特有の光と風と水と土がある。地域づくりには、土の人(土着の人)と風の人(外からやってきた人)との協働が必要……などなど、地域づくりを目指す私たちが忘れてはいけない大切な視点も学ぶことができた。

受講料千円とか二千円で、自分の世界が広がることを思えば安いもの。ぜひ多くの人たちにも参加して欲しい。

(大島 進)



# NPO法人「未来空間ぽむぽむ」

区役所からさほど遠くない立石五丁目のマンションにぽむぽむの事務所はある。

毎週日曜日の昼間と火曜日の夕方、ここは障害者のたまり場として開放される。

障害者たちは、集まった仲間と遊んだり、パソコンを操作したり、ボランティアスタッフとおしゃべりしたりと、思い思いに過ごす。日曜日には一緒に昼食を作って食べることも。



「社会福祉法人の障害者の通所施設では昼間働き、土日は休み。そんな生活にプラスして彼らの余暇活動の場をつくりたい」と理事長の井上美穂子さん。

03年9月法人認証を取得。正会員三七人と賛助会員四一人、利用会員八〇人。有償スタッフはいない。

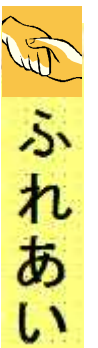
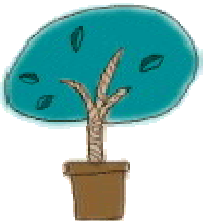
知的障害者や精神障害者が一人で余暇を楽しむことは難しい。しかし彼らが自立してゆくために必要な食事を作り、身だしなみを整えたり、人と話したりという日常的な生活は、保護者との暮らしや施設だけで

## グループ

はなかなか育たない。たまり場は、彼らに明日へのエネルギーと自立への力をつける場所になって欲しいという。

毎月第一金曜日には食事も開かれる。またミニコンサートや体験宿泊、年に数回は遠出もする。

いずこも同じようにやりくりは大変で、各種助成の情報には目を光らせる。ユニコムの情報収集力とネットワークが生かせたらと考えている。



早いものでもう三月、ついこの間おめでとございますと言っていたのに・・・である。

三月は役所や多くの企業の期末であり一年の業績を計る大切な月。経営者はどきどきする月で当ユニコムかつしかもしっかりである。果たして地域の公益に幾分とも貢献出来たであろうかと振り返って見る必要があります。

今年の三ヶ月間何かいいことがあっただろうか？地球の温暖化による世界中で起きている異常気象。日本の記録づくめの暖冬。世界各国で頻発する鳥インフルエンザその為に鳥以外の家禽類のブタ等何千頭が殺されています。これって尋常な営みなのでしょうか・・・。我々人間社会においても地球規模で人々の殺し合いが続発しています。日本国内でも親殺し子殺しが後を絶たないのはどうしてなのでしょう？

一方楽しい嬉しい期待できることはどれほどあったでしょう？北朝鮮との会議で少しは進展したとや宮崎県の知事にしがらみのない人物がなったこと。小さいけれど区との協働事業のSNSが決まったこと。図書館でのボランティア活動で利用する方々から心のこもったお礼の言葉等それぞれが私たちに励ましや、やる気の決意におおいに影響しています。嬉しいです。そして、ますます今後も楽しい期待の持てる十九年度へと美しく前進したいです。『ねえ安倍さん？』

(高木公完)

# 「シニア情報生活アドバイザー」 資格取得養成講座

この講座は平成十六年十二月、テクノプラザかつしかに於いて、SOHO三鷹より講師をお招きし、当時の葛飾ITクラブのメンバー九名が受講したのが始まりです。開催にあたっては諏訪会員が大いに尽力されました。受講メンバーの中には、どういう講座内容かも理解しないまま、員数合わせに動員された方も数名いましたが、全員がめでたく資格を取得しました。

この講座の結果を踏まえ、この内容なら葛飾ITクラブに於いても実施団体としてやっていると判断された諏訪会員が、資格発行元の(財)ニューメディア開発協会と交渉した結果、平成十七年八月、講座実施団体として認定されました。同時に、葛飾区高齢者支援課のご協力により市民企画講座として行うことになり、「広報かつしか」に受講者募集が掲載されるまでになりました。

現在、三月一日を最終日に第八回目の講座を実施中ですが、過去に於いて資格取得された多くの受講生が、現在はユニコムかつしかの中心メンバーとして活躍中です。

この講座は、パソコンのスキルアップ講座とは異なり、シニアに対するパソコン指導者の養成を目的としています。八日間の講座の最終日に、「筆記」「実技」「プレゼンテーション」三科目の試験が行われ、これに合格して「シニア情報生活アドバイザー」の認定証がニューメディア開発協会より交付されます。受講生

の中には、普段のパソコン講座と勘違いされて受講される方もいて、過去に於いては数名の受講者が途中で挫折し受講を辞退されています。

講座の内容は、パソコン操作にとまどったり悩んだりするシニアに対して、どのように指導したらいいかという観点から構成されています。しかも指導者として「教える」ではなく、一緒に体得する「コーチ」を主眼に置いています。また試験科目の「プレゼンテーション」は、パソコンが楽しく便利なものであり、シニアがぜひパソコンをやってみたいと思わせることが重要です。

全般的にパソコンスキルの上級者ほど、プレゼンテーション内容が難しくなる傾向にあり、指導者としては疑問を感じる方が多くいることは否めません。講座の主旨をはっきり理解してもらう事が重要だと感じています。  
(矢野清彦)



講座風景



## 総務部より

一月二十八日にユニコムかつしかとなってからの第二回目の定例会が開催されました。会場の都合で日曜日の一七時三〇分からとなりましたが十六名の方に参加頂き活発な意見交換を行いました。

各事業担当者からの報告、事務局からの報告、これからの事業展開等について説明があり、その後内容について三時間にわたり討論しました。顔を会わせての話し合いがなかなか出来ない中、今回は皆が日頃思っている点を本音で語り合えて大変有意義な定例会でした。

今年は新しい事業が始まり、これらの事業を運営していくには皆様の力が必要です。ぜひ積極的なご協力、ご参加をお願いします。

## 編集後記

ブラジルのリオデジャネイロ

からチリのバルパライソまで、南米の最南端を回るクルーズをしてきた。

乗客の大半はアメリカ人。十六日と比較的長い旅だったのでリタイヤした人が多かったが、好奇心旺盛で若々しく元気なシニアが目立った。五〇代で退職して第二の人生を楽しんでいる人も多い。

日本では、死ぬまで働きたいという人が多いようだ。勤勉な気質は悪いことではないが、働き場所は会社だけではない。地域の活性化など、多様な生き方があるはずだ。  
(志)

